

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算
報告時に記載（配付
申請時は記載不要）

様式1

令和6年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード)

※校園コードを必ず入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当	350,000	+	学級数	30学級	+	特別支援学級及び通級 による指導の開設校(1開 設1学級とみなす)	7学級	×	学級配当	29,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。										
配付上限額										
=	<input type="text" value="1,423,000"/>									

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

○学校の特色の一つとして、伝統あるマーチングを継続し、保護者・地域住民に披露する場を工夫する。事後アンケートで、児童・保護者とも「マーチングに取り組むことで（子どもたちが）得たものがある」の設問に対する肯定的回答の割合を80%以上にするようにする。また、マーチングを鑑賞する児童の意識が高まるよう工夫することで、本校の伝統が受け継がれていくようにする。

○令和6年度校内調査「日々の授業の中で学習者端末を活用して学習をしている。」の項目において「ほぼ毎日」とこたえる児童の割合を90%以上にする。さらに、スマートスクール次世代学校支援事業で導入している心の天気、いじめアンケート等により児童の心の状態や日々の生活状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を実現する。

○小学校学力経年調査・校内アンケートの「友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広めたりすることができている。」の項目に肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

○読書環境の整備に努め、蔵書の整備を積極的に行う。児童アンケートの「読書が好き」の設問に対する肯定的回答の割合を80%以上にする。

○医療的ケアが必要な児童の在籍に伴い、校内の支援体制を整える。また、校内外の研修に積極的に参加し、全職員が共通理解し実践する。研修会や共通理解の場の持ち方を明確化し、児童の特性や傾向・合理的配慮のための支援の方法などについて共有を図る。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

○学校だよりを通して、テーマや選曲の意図、練習の進捗状況等をその都度発信することができた。あらかじめ時間割に時間と場所を設定したことで、練習が進めやすかった。曲数、入場方法、前学年での予習、フォーメーション等、外部講師の協力も得て、児童数増加と負担軽減の工夫を進めることができた。事後アンケートでは、すべての学年で肯定的回答が80%を上回り、目標を達成することができた。リハーサルを鑑賞する機会を持つことで、1年生から5年生は自分たちも取り組んでみたいという気持ちをもつことができた。6年生は下級生に披露する機会があり、さらに下級生からメッセージをもらう事で、誇りをもって活動に取り組む決意を新たにすることができた。メジャーパトンの引継ぎ式を実施することで、特に5年生において、改めて伝統を引き継ぐ意識を強くすることができた。

○学年ほぼすべての教科でデジタル教科書の動画や音声読み上げを活用することができた。学年に応じて、ナビマや九九、キーボードレッスン、カメラ、PowerPoint、Wordを活用することができた。連絡帳を学びのポータルで配信したり、一人一台端末を自宅に持って帰ったりすることで心の天気の入力率が上がり、児童の心の状態を可視化できるようになった。校内調査「日々の授業の中で学習者端末を活用して学習をしている。」の項目で「ほぼ毎日」と回答した児童の割合は79%であった。

○研究授業を通して、学校が丸となってポートフォリオや参観者のコメントシート、一人一授業に全員取り組んだことで、より良い授業について検討を重ねることができた。校内アンケート「友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広めたりすることができている。」の項目に肯定的に回答する児童の割合は85%で目標を達成した。

○学級文庫の本を入れ替えたり、大阪市立図書館の団体貸し出しを利用したり、読書活動の活性化を図った。図書室が教室から遠い学年は、ブックトラックを廊下に設置し、貸し出しを行ったことで読書量が増え、たくさんの本に親しむことができた。児童アンケート「読書がすきだ」の肯定的回答の割合は全学年で89%で目標を達成した。

○医療的ケア研修を年に3回行い、教職員に医療的ケア児の配慮事項や緊急対応方法を共有することができた。通級や特別支援学級児童について研修会を行い、児童の特性や対応の方法を共通理解することができた。また、学級での居場所づくりにつとめ、学年打ち合わせ等で、支援を要する児童への配慮事項を検討した。「通級だより」で、通級で学習している内容などを教職員に伝達することができた。配慮を要する児童、不登校傾向の児童について、通常学級担任と情報共有を行い、児童が登校できるための支援を行った。

A

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

○学校の特色の一つとして伝統あるマーチングに取り組み、校内・保護者・地域に披露する場を工夫する。
○学習者用端末を利用して、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化し、児童の理解を深める。
○教科・領域の指導において、子どもにどのように力をつけさせたいのかを明確にした指導評価・実践を目指し、全学年で授業研究に取り組む。
○図書室の整備をはじめ、学級文庫の充実、読書スペースの整備、市立図書館の団体利用などを進め、読書環境の整備に努める。
○医療的ケアが必要な児童の在籍に伴い、校内の支援体制を整える。また、発達障がい等の配慮を要する児童、いじめ・不登校などで不適応が心配される児童の特性や傾向・合理的配慮のための支援の方法について共有し、支援する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

○テーマ・練習の進捗状況を校内・保護者・地域に対して学期に1回以上発信し、取り組みの目的を共有する。
○活動内容・練習方法・披露する場所を工夫する。
○6年生では、学年全体で取り組むことの意義を常に考えさせ、取り組みを通して、友だち同士が互いに支えあう共生の心と自己肯定感を育むようにする。
○1～5年生では、マーチングの鑑賞を通して自身でも取り組んでみたいという気持ちにつなげ、伝統を受け継いでいく気持ちを醸成していく。
○児童アンケートで1から5年生は、「マーチングを見て、自分もやってみたいと思う。」6年生は「マーチングに取り組んで、自分にとって得たものがあると思う。」の肯定的回答の割合を80%以上にする。
○発達段階や学習場面等に合わせて、学習者用端末やデジタル教材を有効的に活用する。
○ICT機器を活用したプレゼンテーションスキルの向上のために、各教科の中で学習者用端末等を使ったプレゼンテーションをする機会を設定する。
○学習者用端末で、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化する。
○各教科の授業研究(一人一授業含む)において、「単元を通して、何を目的としてどのような内容を交流するか」という視点を持ち、授業を実施する。また、授業研究(授業)後に、参観者のコメントシートをやり取りすることで、授業力を高める。
○前年度までの体育科の研究を活かし、授業前に、学年で、子どもたちの視点に基づいた授業展開を考えるようにする。また、年間指導計画をもとに、領域ごとの到達度目標を設定し、教師が教えることと子どもたちが気づくことを明確にする。
○児童アンケートにおける「話し合い活動」に対する肯定的な回答(児童)を昨年度よりも1ポイント増加させる。
○読書環境の整備を定期的に点検する。
○学級文庫の本を学期ごとに交換する。
○読書ボランティアの活躍の場と交流の場を設定する。
○医療的ケアの研修会を年3回行う。また、その他の発達障がい等、特別支援教育全般に関する研修会を年に2回設ける。
○医療的ケアが必要な児童、配慮を要する児童、不登校傾向の児童等の状況を共通理解し、必要な支援をするために、特別支援学級担任が学年会に加わり、通常学級担任との連携を深める。

指標に対する達成状況(取組完了時)

○学校だよりを通して、テーマや選曲の意図、練習の進捗状況等をその都度発信することができた。あらかじめ時間割に時間と場所を設定したことで、練習が進めやすかった。曲数、入場方法、前学年での予習、フォーメーション等、外部講師の協力も得て、児童数増加と負担軽減の工夫を進めることができた。事後アンケートでは、すべての学年で肯定的回答が80%を上回り、目標を達成することができた。リハーサルを鑑賞する機会を持つことで、1年生から5年生は自分たちも取り組んでみたいという気持ちをもつことができた。6年生は下級生に披露する機会があり、さらに下級生からメッセージをもらう事で、誇りをもって活動に取り組む決意を新たにすることができた。メジャーパトンの引継ぎ式を実施することで、特に5年生において、改めて伝統を引き継ぐ意識を強くすることができた。
○学年ほぼすべての教科でデジタル教科書の動画や音声読み上げを活用することができた。学年に応じて、ナビマや九九、キーボードレッスン、カメラ、PowerPoint、Wordを活用することができた。連絡帳を学びのポータルで配信したり、一人一台端末を自宅に持って帰ったりすることで心の天気の入力率が上がり、児童の心の状態を可視化できるようになった。校内調査「日々の授業の中で学習者端末を活用して学習をしている。」の項目で「ほぼ毎日」と回答した児童の割合は79%であった。
○研究授業を通して、学校が一丸となってポートフォリオや参観者のコメントシート、一人一授業に全員取り組んだことで、より良い授業について検討を重ねることができた。校内アンケート「友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広めたりすることができている。」の項目に肯定的に回答する児童の割合は85%で目標を達成した。
○学級文庫の本を入れ替えたり、大阪市立図書館の団体貸し出しを利用したり、読書活動の活性化を図った。図書室が教室から遠い学年は、ブックトラックを廊下に設置し、貸し出しを行ったことで読書量が増え、たくさん本に親しむことができた。児童アンケート「読書がすきだ」の肯定的回答の割合は全学年で89%で目標を達成した。
○医療的ケア研修を年に3回行い、教職員に医療的ケア児の配慮事項や緊急対応方法を共有することができた。通級や特別支援学級児童について研修会を行い、児童の特性や対応の方法を共通理解することができた。また、学級での居場所づくりにつとめ、学年打ち合わせ等で、支援を要する児童への配慮事項を検討した。「通級だより」で、通級で学習している内容などを教職員に伝達することができた。配慮を要する児童、不登校傾向の児童について、通常学級担任と情報共有を行い、児童が登校できるための支援を行った。

達成

A

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

--

【裏面に続く⇒】

(校 園 コー ド 511001)
 学 校 名 堀 川 小 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】		達成
取り組み内容⑦【2. 豊かな心の育成・マーチング】 学校の特色の一つとして伝統あるマーチングに取り組み、校内・保護者・地域に披露する場を工夫する。		A
①予算内訳 7-1 マーチング講師謝礼 @5,200円×30H+17,000円(交通費)=173,000円 7-1 マーチング講師謝礼 @5,200円×30H+17,000円(交通費)=173,000円 17-2 マーチンググロッケン @77,000円×1=77,000円 17-2 アコーディオン @140,800円×1=140,800円 10-1 マーチンググロッケン用キャリー @19,800円×1=19,800円 10-1 ドラムスティック @2,090円×8=16,720円 10-1 リコーダーストラップ @480円×20=9,600円 10-1 鍵盤ハーモニカ噴口 @330円×20=6,600円 10-1 カラーガード用ポールWinbird poleオリジナルアルミポール @2,860円×2=5,720円 10-1 鍵盤ハーモニカ @7,260円×6=43,560円 <div style="text-align: right;">合計：665,800円</div>		
②決算内訳 アコーディオン @ 105,430 × 1 = 105,430 マーチンググロッケン @ 56,056 × 1 = 56,056 グロッケン用キャリー @ 14,414 × 1 = 14,414 ドラムスティック @ 1,487 × 8 = 11,896 リコーダーストラップ @ 136 × 20 = 2,720 鍵盤ハーモニカ @ 4,907 × 6 = 29,442 鍵盤ハーモニカ吹口 @ 239 × 20 = 4,780 カラーガード用ポール @ 6,108 × 2 = 12,216 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 4 = 20,800 交通費 @ 1,820 × 1 = 1,820 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 4 = 20,800 交通費 @ 3,640 × 1 = 3,640 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 6 = 31,200 交通費 @ 1,480 × 3 = 4,440 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 2 = 10,400 交通費 @ 1,820 × 1 = 1,820 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 2 = 10,400 交通費 @ 1,480 × 1 = 1,480 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 18 = 93,600 交通費 @ 1,480 × 7 = 10,360 講師謝礼金 マーチング @ 5,200 × 18 = 93,600 交通費 @ 1,820 × 7 = 12,740 <div style="text-align: right;">合計：554,054 円</div>		

(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】	達成
取り組み内容①【6. 教育DXの推進・ICTを活用した教育の推進】 学習者用端末を活用して、スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化し、児童の理解を深める。	B
①予算内訳 10-1 micro SDカード (64GB) @5,334×1=5,334円 <div style="text-align: right;">合計：5,334円</div>	
②決算内訳 マイクロSDカード @ 11,226 × 3 = 33,677 HDMI ケーブル @ 1,180 × 20 = 23,600 <div style="text-align: right;">合計： 57,277 円</div>	

(3)取組内容【基本的な方向番号、名称】	達成
取り組み内容②【4. 誰一人取り残さない学力の向上・主体的・対話的で深い学び】 教科・領域の指導において、子どもにどのように力をつけさせたいのかを明確にした指導計画・実践を目指し、全学年で授業研究に取り組む。	A
①予算内訳 10-1 高跳び用竹バー @2,000円×10=20,000円 10-1 ボール @2,000円×50個=100,000円 10-1 学習時計 @450円×100個=45,000円 10-1 画用紙 @1,000円×57冊=57,000円 10-1 インクジェットプリンタ @20,000円×1台=20,000円 10-1 インクカートリッジ (黒) @1,800円×3個=5,400円 10-1 インクカートリッジ (カラー) @2,100円×3個=6,300円 10-1 ふせん @2,600円×3束=7,800円 10-1 算数ブロック @7,000円×4=28,000円 10-1 ラミネーター @20,000円×1台=20,000円 10-1 ラミネートフィルム @2,650円×4箱=10,600円 10-1 上質紙 @1,500円×30=45,000円 <div style="text-align: right;">合計：365,100円</div>	
②決算内訳 大型算数ブロック @ 7,000 × 6 = 42,000 バスケットボール @ 1,595 × 20 = 31,900 マット @ 12,518 × 15 = 187,770 高跳びバー @ 12,012 × 1 = 12,012 ソフトバレーボール @ 968 × 5 = 4,840 椅子カバー @ 715 × 80 = 57,200 ふせん @ 4,050 × 2 = 8,100 ふせん @ 2,550 × 1 = 2,550 ふせん @ 3,180 × 1 = 3,180 マット @ 14,900 × 8 = 119,200 デジタルタイマー @ 6,200 × 1 = 6,200 色画用紙 @ 1,690 × 33 = 55,770 芸術鑑賞児童交通費 @ 160 × 127 = 20,320 <div style="text-align: right;">合計： 551,042 円</div>	

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。

(校 園 コー ド 511001)
学 校 名 堀 川 小 学 校

7. 取組内容・予算内訳

(4)取組内容【基本的な方向番号、名称】	達成
取り組み内容④【8. 生涯学習の支援・学校図書館の活性化】 図書室の整備をはじめ、学級文庫の充実、読書スペースの設置、市立図書館の団体利用などを進め、読書環境の整備に努める。	B
①予算内訳 7-1 読み聞かせ講師謝礼 @4,300円×4H+1,900円(交通費)=19,100円 <div style="text-align: right;">合計：19,100円</div>	
②決算内訳 講師謝礼金 お話会 @ 4,300 × 4 = 17,200 交通費 @ 380 × 1 = 380 <div style="text-align: right;">合計： 17,580 円</div>	

(5)取組内容【基本的な方向番号、名称】	達成
取り組み内容⑥【2. 豊かな心の育成・インクルーシブ教育】 医療的ケアが必要な児童の在籍に伴い、校内の支援体制を整える。また、発達障がい等の配慮を要する児童、いじめ・不登校などで不適応が心配される児童の特性や傾向・合理的配慮のための支援の方法について共有し、支援する。	A
①予算内訳 17-2 シースルーコンテナ整理ワゴン @149,600円×1台=149,600円 10-1 エッグクッションマット @41,140円×1組=41,140円 10-1 フィジオロールボール @13,200円×1個=13,200円 10-1 軽量折り畳みシールド @17,600円×1個=17,600円 10-1 座卓テーブル @48,950円×1台=48,950円 10-1 ライトアップホワイトボード @13,200円×1個=13,200円 10-1 モザイクあそびスモールピース @3,960円×1組=3,960円 10-1 光る声のものさし「ボイスルーラー」 @14,300円×1個=14,300円 10-1 スクールタイマー @7,480円×1個=7,480円 10-1 タイムトラッカー @9,020円×1個=9,020円 10-1 ソーシャルスキルフラッシュカード @20,000円×1組=20,000円 10-1 たすけ合い体感ゲーム @3,960円×1組=3,960円 10-1 PriPri発達支援 絵カード @2,200円×1組=2,200円 10-1 あそびつくす!まなびつくす! @4,180円×1組=4,180円 10-1 気づく・えらぶ・伝えるところとからだコンディションカード @3,740円×1組=3,740円 10-1 SST絵カード 連続絵カード @4,180円×1組=4,180円 10-1 話し言葉・書き言葉が豊かになるオノマトベ絵カード @3,740円×1組=3,740円 10-1 子どもの発達を支えるアセスメントツール @990円×1冊=990円 10-1 子どもの発達を支えるアセスメントシート @1,320円×1組=1,320円 10-1 通級指導教室で自立活動&指導実践事例集 @2,266円×1冊=2,266円 10-1 発達障がい通級指導教室 子どもの社会性を育てる実践事例集 @2,640円×1冊=2,640円 円	
②決算内訳 コンテナ整理ワゴン @ 114,400 × 1 = 114,400 座卓 @ 38,050 × 1 = 38,050 書籍〈一式〉 @ 6,638 × 1 = 6,638 カードゲーム @ 3,564 × 1 = 3,564 タイムトラッカー @ 8,580 × 1 = 8,580 フラッシュカード @ 19,030 × 1 = 19,030 ホワイトボード @ 11,880 × 1 = 11,880 モザイクあそび @ 836 × 1 = 836 光る声のものさし @ 13,585 × 1 = 13,585 発達支援絵カード @ 2,090 × 1 = 2,090 カードゲーム @ 3,960 × 1 = 3,960 パネルマット @ 2,400 × 6 = 14,400 <div style="text-align: right;">合計： 237,013 円</div>	